

1. 背景とねらい

日本短角種の産肉能力等経済性の向上を図るため計画交配により優れた能力を備えた種雄牛を生産確保し、その効率的利用により集団的な育種改良を推進することを目的とした肉用牛集団育種推進事業が展開されている。

同事業で実施した平成2年度直接検定成績を改良指導のための参考に供する。

2. 技術の内容

- 1) 本年度検定頭数は第1期20頭、第2期14頭の計34頭であった。検定終了後の供用頭数は25頭で、供用率73.5%であった。
- 2) 平均1日当たり増体量は第1期1.22kg、第2期1.15kgであった。
- 3) 選抜指数値、検定成績、血統、体型等を比較検討し、間接検定実施予定牛5頭を選抜した。幸宝、琴栄、琴桜、幸久および松中である。
- 4) さらに、崎笹、滝昭90003、沢富、谷風および藤梅の5頭を現場間接検定実施予定牛として選抜した。

3. 指導上の留意点

1) 直接検定方法

(1) 検定期間

- 第1期 単房 平成2年10月9日～平成3年2月26日（140日）
第2期 群房 平成2年10月23日～平成3年3月12日（140日）

(2) 給与飼料

濃厚飼料 産肉能力検定飼料（TDN73.0% DCP10.5% DM87.6%）

ペレットメタボリック体重当たり6.3%制限

粗飼料 乾草飽食（第1期；TDN44.6% DCP 6.4% DM80.5%）

（第2期；TDN44.4% DCP 5.5% DM81.2%）

(3) 飼養管理

単房 運動場に1日2時間

群飼 (4~5頭1群) ブロードベントドア使用

2) 選抜指数式

$$I = 21.749 \times (DG) - 0.254 \times (\text{皮下脂肪厚}) + 10$$

皮下脂肪厚：皮下脂肪厚8箇所の合計(超音波診断装置)

4. 関連試験課題名

日本短角種産肉能力検定(直接法)

5. 参考資料

- 1) 平成3年度日本短角種産肉能力検定検討会資料(1991)
- 2) 平成3年度試験成績概要書(1992)

選抜牛の概要

検定NO	名号	父	父方祖父	母方祖父	産地	DG	背脂肪厚	間検	現場間検
1	幸宝	崎宝	波崎	波清	岩泉町	1.35	79.3	○	
2	崎宝	崎宝	波崎	波清	岩泉町	1.32	90.7		○
3	滝90001	崎宝	波崎	波清	岩泉町	1.06	70.0		
4	滝昭90003	崎宝	波崎	波清	岩泉町	1.03	71.9		○
5	宝岩	崎宝	波崎	波清	岩泉町	1.26	94.1		
6	宝春	崎宝	波崎	波清	岩泉町	1.21	82.5		
7	琴川	崎秋1565	波春	波昭	岩泉町	1.13	97.8		
8	琴川	崎秋1565	波春	波昭	岩泉町	1.44	77.9	○	
9	琴元	善富	波富	波波	岩泉町	1.24	87.0		
10	元大	善富	波富	波波	岩泉町	1.17	94.5		
11	大沢	善富	波富	波波	岩泉町	1.26	99.8		○
13	闘清	善富	波富	波波	岩泉町	1.31	92.4		
14	闘清	善富	波富	波波	岩泉町	1.23	90.6		
16	清崎	崎宝	波崎	波清	岩泉町	1.27	91.9		
17	谷風	崎秋1565	波春	波昭	岩泉町	1.26	83.0		○
18	琴盛	房德	波春	波昭	岩泉町	1.28	73.9	○	
20	盛雪	房德	波春	波昭	岩泉町	1.27	90.0		
21	雪幸	房德	波春	波昭	岩泉町	1.19	71.7		
23	幸久	房德	波春	波昭	岩泉町	1.16	64.6	○	
25	豊栄	房德	波春	波昭	岩泉町	1.07	85.3		
26	豊梅	崎秋1565	波春	波昭	岩泉町	1.19	77.9		○
27	福宝	崎秋1565	波春	波昭	岩泉町	1.19	78.5		
28	福宝	崎秋1565	波春	波昭	岩泉町	1.12	71.6		
30	福琴	崎秋1565	波春	波昭	岩泉町	1.06	80.5		
34	松川	崎秋1565	波春	波昭	岩泉町	1.45	73.4	○	